

市民参加推進会議  
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号 2 白井市第6次総合計画前期基本計画・前期実施計画策定事業（企画政策課）

質問事項	回答
<b>【審議会に関する質問】</b>	
公募市民の数が2名となっている箇所がありますが、4名でよいのか。	<p>公募委員候補者登録名簿から2名、一般公募から2名の計4名となります。</p> <p>無作為抽出以外 男性 66歳以上 桜台 1名 女性 66歳以上 池の上 1名</p> <p>無作為抽出 女性 36～50歳 大山口 1名 女性 51～65歳 池の上 1名</p>
今回様々な意見を吸い上げた結果、審議会での議論に大いに役に立った手法などがあれば教えてほしい。	<p>ワークショップの手法について、「まちづくり」を担えるプレイヤーは行政だけではなく、市に関わる全ての人が担えるものであることをコンセプト（前提）にし、現状の課題について話し合った後に、その課題を解決するために「個人でできること」「地域でできること」「行政でできること」「企業でできること」の категорияに分けて意見を聞きました。</p> <p>その結果、これまでありがちであった行政への要望ばかりではなく個人や地域でできることに多くの意見が集まりました。</p> <p>審議会では、個人や地域でできることを活かすためには、どのようなまちづくりが必要かを議論しました。</p>
審議会会長と市民参加の質を高める方法について調整したか否か教えてほしい。	市民参加の質を高める方法については主にコンサルタントと調整しておりましたが、調整した結果は審議会会長と共有し、実行しておりました。
<b>【アンケートに関する質問】</b>	
Xを活用した効果について教えてほしい。	X単体による効果がどれほどであったかは不明ですが、情報入手媒体が多岐にわたる現代においては、様々な手法による周知が求められていると考えました。
クエスタントは登録されている住民が回答したのか否か教えてほしい。	クエスタントは登録せずに利用可能です。

【意見交換会に関する質問】

今後の意見交換会の効率的かつ効果的な開催方法について、現時点での考えがあれば教えてほしい。

市には様々な計画があり、計画毎にワークショップを開催することは非効率であるため、テーブルごとに議論するテーマを設け、ワールドカフェ方式等を採用した合同ワークショップを開催する等、効率的に様々なテーマの意見が同時に聞けるような工夫が必要かもしれません。

ワークショップの中身につきましては、上記に記載のとおり個人や地域など、まちづくりのプレイヤーごとにできることを聞くことが効果的と考えます。